

# 要 望 書

ときわ町内会

令和4年11月25日

苫小牧市長 岩倉博文様

ときわ町内会会長 小山征三

日本海溝・千島海溝沿い巨大地震対策に関する要望について

初冬の候、貴職におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大・長期化は、地域活動にも大きな影響をもたらしています。本市におかれましては、地域活動の促進のため町内会と情報共有を図りながら、地域の課題の解決に取り組むなどご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ときわ町内会の活動については、様々な工夫を凝らしながら地域住民と寄り添える活動を続けているところです。先般、本市が示した「日本海溝・千島海溝沿いの津波浸水想定」を踏まえた津波ハザードマップ（原案）は、今後、各町内会の意見を聴取して作成・公表するスケジュールとなっていますが、政府は新たに巨大地震に備え防災・減災対策を推進する地域として本市を指定しました。

災害時、ときわ町の指定避難施設は「澄川小学校」ですが、過去に発生した豪雨災害時には、バイパスが冠水、胆振東部地震では深夜の停電により信号機が停止などバイパスを横断することが危険で避難所まで行けない状況でした。これまでの経験から住民には、不安が広がっているところであります。

当町内は、高齢化率も高く、避難の際には避難経路や避難場所の確保が不可欠であることから下記の事項について要望いたします。

記

- 1 当町内から澄川小学校へ避難する場合、バイパスを横断するため歩道橋の設置を要望いたします。また、歩道橋は、児童の通学路として安全を確保できることから早急に取り組んでいただくことをお願いいたします。
- 2 当町内では75歳以上の高齢者が20%を超え、避難困難者も多くなっていることからときわスケートセンター附近に指定避難施設又は工作物の設置を要望いたします。

以上